（別紙様式４）

令和8年10月1日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
専門学校穴吹動物看護カレッジ	平成18年3月23日	上杉　敬治	〒　761-8056 （住所）　香川県高松市上天神町721-1 （電話）　087-826-2222
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人穴吹学園	平成3年4月1日	穴吹　忠嗣	〒　760-0020 （住所）　香川県高松市錦町1-22-23 （電話）　087-823-5700

分野	認定課程名	認定学科又は専攻科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
文化・教養	文化・教養専門課程	動物看護総合学科	平成22(2010)年度	－	平成26(2014)年度

学科又は専攻科の目的	トリミングやトレーニングができる動物看護師を育てることを目的とする
学科又は専攻科の特徴（取得可能な資格、中退率　等）	取得可能な資格：愛玩動物看護師

修業年限	昼夜の別	全課程の修了に必要な総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3　年	昼間	129　単位	86 単位	37 単位	6 単位	0 単位	0 単位

学生総定員	学生実員(A)	留学生数（学生実員の内数）(B)	留学生割合(B/A)	中退率
90 人	86 人	0 人	0 %	3 %

就職等の状況

■卒業者数 ©	23	人
■就職希望者数 (D)	22	人
■就職者数 €	22	人
■地元就職者数 (F)	15	人
■就職率 (E/D)	100	%
■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)	68	%
■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)	96	%
■進学者数	0	人

■その他

（令和　　7 年度卒業者に関する令和８年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等

（令和7年度卒業生）

動物病院、ペットショップ等

当該学科又は専攻科のホームページURL	https://web.anabuki-college.net/department/animal/

企業等と連携した実習等の実施状況（Ａ、Ｂいずれかに記入）

総単位数	129 単位
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	6 単位
うち企業等と連携した演習の単位数	6 単位
うち必修単位数	12 単位
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	6 単位
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	6 単位
（うち企業等と連携したインターンシップの単位数）	6 単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	3 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	5 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	0 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	2 人
計		10 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	8 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

○教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携

（1）教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針及び教育課程編成委員会等の位置付け

a.教育課程編成委員会を年2回以上開催しているか。	している
開催日時実績	第1回　令和7年11月17日　13:00～14:00/第2回　令和8年2月26日　14:00～15:00
b.教育課程編成委員会に、以下①～③の類型に該当する企業等委員が参加しているか。 ※①から③において、①又は②から1人、③から1人が委員として参画している場合、「している」を選択。 ※①又は②から1人、③から1人が委員として参画していない場合、「していない」を選択。	している
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）	
②学会や学術機関等の有識者	
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員	
c.学校の教育課程編成の責任者が委員参加しているか。	している
d.教育課程や学生の学修成果等に関する現状や情報、データを教育課程編成委員会の委員に提示しているか。	している
e.教育課程編成委員会の議事を記録し、学内回覧等しているか。	している
f.企業等委員の意見を教育課程編成見直しに反映しているか。	している
g.次の教育課程編成委員会に、教育課程編成の見直し結果等を報告しているか。	している

（特筆すべき工夫等）

（2）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年10月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
藤明　洋和	香川県健康福祉部生活衛生課	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	①
棄島　正徳	公益社団法人　香川県獣医師会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	①
佐藤　真	まこと犬と猫の病院	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
小曳　那奈	まこと犬と猫の病院	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
鈴木　ひとみ	サカイ商事株式会社	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
原　有希	高知ラブドッグスクール	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
上杉　敬冶	専門学校穴吹動物看護カレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	―
戸倉　潤也	専門学校穴吹動物看護カレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	―
林　勇樹	専門学校穴吹動物看護カレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	―

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針及び実習・演習等における企業等との連携内容

a.実習等又は演習の形態の授業で企業等連携を行っているか。	している
b.企業等と連携を行う際は、企業等との組織的な協定や契約を締結しているか。	している
c.企業等との連携内容を、連携先企業等との文書等で明示的に合意しているか（連携のマニュアル、手引き等定めているか）。	している
d.教育課程や学生の学修成果等に関する現状や情報、データを教育課程編成委員会の委員に提示しているか。	している
e.企業等の講師に対して事前打ち合わせや研修を行っているか。	している
f.企業等連携の実習・演習等の内容を学校側は適切に確認しているか（教員の見回り実施、実習日誌の作成等）。	している
g.企業等連携の実習・演習等における成績評価について、企業等と協議を行っているか。	している
h.適切な企業等連携の実習・演習となるよう、必要に応じて連携先企業等を見直しているか。	している

（特筆すべき工夫等）

（2）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	企業連携の方法	科目概要	連　携　企　業　等
動物外科看護学実習Ⅰ・Ⅱ	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	久保動物病院、すざき動物病院
AAA実習Ⅰ・Ⅱ	3.【校外】企業内実習（4に該当するものを除く。）	高齢者施設や幼稚園等での動物介在活動の実践を通して、その意義や効果を理解する。	高松中央高校幼稚園あなぶきメディカ
動物看護総合実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	3.【校外】企業内実習（4に該当するものを除く。）	実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。	動物病院

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）認定専門課程等の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

現在就いている職または将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な能力及び資質等の向上を図るため、教員は学内および学外で研修に参加し、自らの見識・技能の幅を広げ、それを教育の現場で反映させていくこととする。学校は教職員研修規定に従い、教員の業務経験や能力に応じて、新たに採用した教職員に対して「新任者研修」、管理職教職員に対しては「管理職研修」、各々指導分野における実務研修・見学研修を計画的に実施する。

（2）研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	動物臨床医学会年次大会	連携企業等：	公益社団法人　動物臨床医学研究所
期間：	令和7年10月	対象：	動物看護系教員
内容	動物医療で必要とされる技術と知識		
研修名：	WJVF2026	連携企業等：	日本臨床獣医学フォーラム事務局
期間：	令和7年7月	対象：	動物看護系教員
内容	動物医療で必要とされる技術と知識		
研修名：	トリマー義務研修	連携企業等：	一般社団法人ジャパンケネルクラブ
期間：	令和7年8月	対象：	動物美容系教員
内容	ドッグトリミングに関する講義		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	キャリア・サポーター養成講座	連携企業等：	職業教育・キャリア教育財団
期間：	令和7年8月	対象：	全教職員
内容	学生が自分自身のキャリア（仕事人生）を主体的に設計・選択・決定できるように支援するという理念を広く浸透させ、教職員として身に付けるべきマインド（態度や姿勢・考え方）を学ぶ		
研修名：	主体性創造ワークショップ	連携企業等：	株式会社　WISHパートナーズ
期間：	令和8年2月	対象：	全教職員
内容	学生の主体性を創造するための関わり方を学ぶ		

（3）研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	ペピィWebライブセミナー	連携企業等：	株式会社PEPPY
期間：	令和8年8月	対象：	動物看護系教員
内容	愛玩動物看護師の保定で変わる腹部エコー・心エコー		
研修名：	WJVF2026	連携企業等：	日本臨床獣医学フォーラム事務局
期間：	令和8年7月	対象：	動物看護系教員
内容	動物医療で必要とされる技術と知識		
研修名：	トリマー義務研修	連携企業等：	一般社団法人ジャパンケネルクラブ
期間：	令和8年8月	対象：	動物美容系教員
内容	ドッグトリミングに関する講義		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	キャリア・サポーター養成講座	連携企業等：	職業教育・キャリア教育財団
期間：	令和8年8月	対象：	全教職員
内容	学生が自分自身のキャリア（仕事人生）を主体的に設計・選択・決定できるように支援するという理念を広く浸透させ、教職員として身に付けるべきマインド（態度や姿勢・考え方）を学ぶ		
研修名：	主体性創造ワークショップ	連携企業等：	株式会社　WISHパートナーズ
期間：	令和9年2月	対象：	全教職員
内容	学生の主体性を創造するための関わり方を学ぶ		

4.「当該専門課程等を置く専修学校において、学校教育法第百三十二条の二第二項の規定により評価を受け、その結果を公表していること。」関係

〇学校関係者評価

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	
(1)教育理念・目的・目標	
1　教育理念、目的及び目標の設定等	
①教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	同内容評価項目を設けている
(2)学校運営	
1　教育課程の編成と授業科目	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成したうえで、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	同内容評価項目を設けている
2　教育の実施	
①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	同内容評価項目を設けている
②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位数の総授業単位数に占める割合を具体的に設定していること。	同内容評価項目を設けている
3　単位・卒業認定	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針(資格・免許等を含む習得させる職業能力を含む)を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	同内容評価項目を設けている
4　学修成果目標の達成状況	
①卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得(資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得を含む。)についての目標を定め、その目標が達成できていること。	同内容評価項目を設けている
②学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	同内容評価項目を設けている
(3)学生の受入れ、学生支援	
1　学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	
①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定していること。	同内容評価項目を設けている
2　自主的な学習の促進に対する支援	
①学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　多様な学生に対する支援	
①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
4　学生生活に関する支援	
①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	同内容評価項目を設けている
②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	同内容評価項目を設けている
③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。 ※簡易評価項目	同内容評価項目を設けている
④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	同内容評価項目を設けている

（4）教育実施組織・教員	
1　教員の配置、募集、採用	
①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用していること。	同内容評価項目を設けている
②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
2　教員の組織編制等	
①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	同内容評価項目を設けている
②教員間で連携、協力体制を構築していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　教員の資質の向上	
①学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	同内容評価項目を設けている
②特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っているこ	同内容評価項目を設けている
③教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
（5）教育環境	
1　教育環境の整備	
①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	同内容評価項目を設けている
②学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
③図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
2　安全対策、防災組織	
①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	同内容評価項目を設けている
②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　施設・設備等の点検、改善等	
①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。※任意項	同内容評価項目を設けている
②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。※任意項目	同内容評価項目を設けている
（6）教育活動の基盤と改善・向上の取組	
1　中期事業計画と財務基盤	
①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	同内容評価項目を設けている
2　学校運営	
①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等）における責任体制を含む。）。	同内容評価項目を設けている
3　学校評価の実施と改善活動	
①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
②特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。	同内容評価項目を設けている
③学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	同内容評価項目を設けている
④学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
4　社会からの理解と情報の公表	
①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	同内容評価項目を設けている
②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取組んでいること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている

（3）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和8年10月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
森川　崇	元県立観音寺中央高等学校校長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	元高校関係委員
喜多　泰三	香川県立農業経営高等学校	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	高校関係委員
三笠　善宣	香川県立高松南高等学校	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	高校関係委員
高田　有基	株式会社YJR　アシル動物病院	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	業界委員
入江　俊介	株式会社ベッツウェイ　たかせ動物病院	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	卒業生
中岡　和恵	学生保護者	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	PTA

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

情報提供方法	ホームページ	「その他」の場合	ー
公表URL	https://web.anabuki-college.net/wp-content/uploads/2026/02/78803b3e32e6edc03d1d67e4c037ac1e.pdf		
公表時期	令和8年12月1日		

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）情報提供

情報提供方法	ホームページ	「その他」の場合	ー
公表URL	https://web.anabuki-college.net/guide/disclosure/		
公表時期	令和8年12月1日		

授業科目等の概要

	（文化・教養専門課程 動物看護総合学科）															
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○	－	－	サービス接遇講座Ⅰ	サービス接遇検定３級取得のための勉強を通して、社会人として必要なマナー・接客スキルを身につける。接客の基礎を学ぶことによって、動物看護師・ペットショップスタッフとしての業務をストレスなく行える力を身につける。お客様心理を理解することによって、他人へ配慮する気持ちを身につける。	1前	1	－	○	－	○	－	○	－	－
2	○	－	－	犬種標準学Ⅰ	犬の種類と特徴を知ることで、犬との触れ合い方や飼養方法を学ぶ。	1前	2	○	－	－	○	－	－	○	－
3	○	－	－	グルーミング実習BASICⅠ	グルーミング(犬の美容)に必要な犬の扱い方と、美容道具の扱い方を学ぶ。	1前	2	－	○	－	○	－	○	－	－
4	○	－	－	トレーニング実習Ⅰ	犬が人間社会で暮らしていくために必要なルールやマナーを学ぶ。訓練基礎を習得する	1前	1	－	○	－	○	－	－	○	－
5	○	－	－	動物形態機能学Ⅰ	動物の生命維持の仕組みと解剖学及び生理学の基礎を知り、生命体としての動物を理解する。	1前	2	○	－	－	○	－	○	－	－
6	○	－	－	動物行動学	犬や猫の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。	1前	2	○	－	－	○	－	○	－	－
7	○	－	－	動物看護関連法規	動物看護に関連する基本的な法規について学び、社会における愛玩動物看護師の役割を理解する。	1前	1	○	－	－	○	－	○	－	－
8	○	－	－	動物愛護・適正飼養関連法規	動物の愛護及び適正飼養に関連する様々な法規について学び、人と動物の共生のあり方等を理解する。	1前	1	○	－	－	○	－	○	－	－
9	○	－	－	動物看護学概論	獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、社会における動物看護の役割を理解する。	1前	2	○	－	－	○	－	○	－	－
10	○	－	－	動物感染症学Ⅰ	微生物や寄生虫の分類、伝播様式や発病のメカニズム等を学び、検査や診断、予防・治療法など感染症の基礎を習得する。	1前	2	○	－	－	○	－	－	○	－

11	○	－	－	動物内科看護学Ⅰ	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像診断に必要な検査、所見の記録等について理解する。	1前	2	○	－	－	○	－	○	－	－
12	○	－	－	愛玩動物学Ⅰ	愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼育管理方法について理解する。	1前	2	○	－	－	○	－	○	－	－
13	○	－	－	動物内科看護学実習Ⅰ	内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力と修得する。	1前	1	－	○	－	○	－	○	－	－
14	○	－	－	社会人基礎講座Ⅰ	専門学校での学習の意味を理解し進路を決定する際に必要な知識とスキルを身につける。	1後	1	－	○	－	○	－	○	－	－
15	○	－	－	サービス接遇講座Ⅱ	サービス接遇検定2級取得のための勉強を通して、社会人として必要なマナー・接客スキルを身につける。接客の基礎を学ぶことによって、動物看護師・ペットショップスタッフとしての業務をストレスなく行える力を習得する。お客様心理を理解することによって、他人へ配慮する気持ちを身につける。	1後	1	－	○	－	○	－	○	－	－
16	○	－	－	犬種標準学Ⅱ	犬種の特徴を知り、訓練、美容、看護の分野で役に立つようにする。	1後	2	○	－	－	○	－	－	○	－
17	○	－	－	グルーミング実習BASICⅡ	グルーミング作業（ブラッシング・ベイジング・ドライング・爪切り・耳そうじ・クリッピング・足回り）をできるようになる。	1後	2	－	○	－	○	－	○	－	－
18	○	－	－	トレーニング実習Ⅱ	犬が人間社会で暮らしていくために必要なルールやマナーを学ぶ。訓練基礎を習得する。	1後	1	－	○	－	○	－	－	○	－
19	○	－	－	動物形態機能学Ⅱ	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに病的変化についても学ぶ基盤を確立する。	1後	4	○	－	－	○	－	○	－	－
20	○	－	－	動物感染症学Ⅱ	伴侶動物であるイヌやネコをはじめ、動物の感染症を理解することは、獣医療に関わるものとして大変重要である。主にイヌやネコに感染する微生物や寄生虫の特徴や生活環、感染経路、症状について学習し、予防と看護に活かす。	1後	2	○	－	－	○	－	－	○	－
21	○	－	－	動物内科看護学Ⅱ	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像診断に必要な検査、所見の記録等について理解する。	1後	2	○	－	－	○	－	○	－	－

22	○	－	－	動物臨床看護学総論	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。	1後	2	○	－	－	○	－	○	－	－
23	○	－	－	愛玩動物学Ⅱ	愛玩動物看護師は様々な動物の看護に携わる可能性があり、また、その飼い主へ飼養管理指導をする場面も想定される。エキゾチックアニマルの歴史や品種、身体的特徴、適切な飼育方法、代表的な病気について理解する。	1後	2	○	－	－	○	－	○	－	－
24	○	－	－	動物内科看護学実習Ⅱ	講義で習得した知識の実践とし、診療現場で必要な観察力及び看護法に関する基本的手技を身に着ける。また手順や要領を考慮した行動から問題解決能力や看護実践能力を身につける。動物の基礎情報を収集し、診療補助からはじまるトータルケアの看護技術を学ぶ。	1後	1	－	○	－	○	－	○	－	－
25	○	－	－	動物看護総合実習Ⅰ	一定期間企業などの中で研修生として働き、身につけた知識や技術を総合的に実践する。	1後	2	－	－	○	－	○	－	○	○
26	○	－	－	社会人基礎講座Ⅱ	専門学校での学習の意味を理解し、進路を決定する際に必要な知識とスキルを身につける。就職活動に必要な知識・技術を学び習得する。	2前	1	－	○	－	○	－	○	－	－
27	○	－	－	サービス接遇講座Ⅲ	サービス接遇検定準1級に合格する接客の基本スキルを身につける。接客の基本を学ぶことにより、ペット業界スタッフとしての業務をストレスなく行える力を習得する。グループ練習を通して、多様性を理解し、協調性とコミュニケーション力を習得する。	2前	0	－	○	－	○	－	○	－	－
28	○	－	－	トリミング実習BASICⅠ	トリミング(犬のカット)に必要な犬の扱い方と、美容道具の扱い方、様々なカット様式を学ぶ。	2前	2	－	○	－	○	－	○	－	－
29	○	－	－	トレーニング実習Ⅲ	実習Ⅲ 犬の集中力・正確さをやしなう。	2前	1	－	○	－	○	－	－	○	－
30	○	－	－	動物形態機能学Ⅲ	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに病的変化についても学ぶ基盤を確立する。	2前	2	○	－	－	○	－	○	－	－
31	○	－	－	動物感染症学Ⅲ	伴侶動物であるイヌやネコをはじめ、動物の感染症を理解することは、獣医療に関わるものとして大変重要である。主にイヌやネコに感染する微生物や寄生虫の特徴や生活環、感染経路、症状について学習し、予防と看護に活かす。	2前	2	○	－	－	○	－	－	○	－
32	○	－	－	動物内科看護学Ⅲ	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像診断に必要な検査、所見の記録等について理解する。	2前	2	○	－	－	○	－	○	－	－

33	○	－	－	動物外科看護学Ⅰ	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	2前	2	○	－	－	○	－	－	○	－
34	○	－	－	動物臨床看護学各論Ⅰ	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。	2前	2	○	－	－	○	－	○	－	－
35	○	－	－	動物臨床検査学	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。	2前	2	○	－	－	○	－	－	○	－
36	○	－	－	動物内科看護学実習Ⅲ	講義で習得した知識の実践とし、診療現場で必要な観察力及び看護法に関する基本的手技を身に着ける。また手順や要領を考慮した行動から問題解決能力や看護実践能力を身につける。動物の基礎情報を収集し、診療補助からはじまるトータルケアの看護技術を学ぶ。	2前	1	－	○	－	○	－	○	－	－
37	○	－	－	動物臨床検査学実習Ⅰ	検体検査及び生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。	2前	1	－	○	－	○	－	－	○	－
38	○	－	－	動物外科看護学実習Ⅰ	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	2前	1	－	○	－	○	－	－	○	○
39	○	－	－	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実習Ⅰ	情報化社会の現在、必須の能力とされているパソコンスキルを習得するため、パソコン演習を通し、パソコンの基本操作を学び、文書作成ソフト(Word)の操作と文書作成能力を養う	2後	1	－	○	－	○	－	－	○	－
40	○	－	－	ペット美容学	犬の健康維持と手入れの基本を学び、顧客の相談に対応できるようにする。	2後	2	○	－	－	○	－	－	○	－
41	○	－	－	トリミング実習BASICⅡ	グルーミング作業の効率・スピードUPを目指す。部分カットに必要な、トリミングの基礎を身に付ける。	2後	2	－	○	－	○	－	○	－	－
42	○	－	－	トレーニング実習Ⅳ	犬の集中力・正確さをやしなう。	2後	1	－	○	－	○	－	－	○	－
43	○	－	－	動物栄養学Ⅰ	動物のライフステージ別の栄養管理や疾患による栄養要求の違いを学び管理方法を理解する。	2後	2	○	－	－	○	－	○	－	－
44	○	－	－	動物病理学	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する。	2後	2	○	－	－	○	－	○	－	－
45	○	－	－	動物外科看護学Ⅱ	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	2後	2	○	－	－	○	－	－	○	－

46	○	－	－	動物臨床看護学各論Ⅱ	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関しる基本的な知識を学ぶ。	2後	2	○	－	－	○	－	○	－	－
47	○	－	－	人と動物の関係学	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的及び社会学的側面から、その実態、課題等を含めて理解する。	2後	2	○	－	－	○	－	○	－	－
48	○	－	－	動物形態機能学実習	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ。	2後	1	－	○	－	○	－	○	－	－
49	○	－	－	動物内科看護学実習Ⅳ	「動物看護実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」での実践能力に応用力を用いて診療補助からはじまるトータルケアの看護技術を学ぶ。全身の身体検査を実施し、バイタルサインの評価・記録・獣医師への報告が行えるようになる。それぞれの動物種と状態に応じた保定技術を身につけ、できるだけ受診動物に負担がなく、かつスムーズな診察・処置が行えるよう、サポートができるように習得する。また、手術関連業務として外科手術に必要な「術前準備と術後業務」「麻酔器・モニター機器」までの意義を理解し、機器の管理・備品の準備・正確な手技をマスターし適切な取り扱いができるようになる。動物の状態観察および看護に努め、院内・犬舎・猫舎・入院舎の衛生管理に努め、滅菌・消毒・殺菌への理解を深めながら感染の予防を実践する。	2後	1	－	○	－	○	－	○	－	－
50	○	－	－	動物臨床検査学実習Ⅱ	検体検査及び生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。	2後	1	－	○	－	○	－	－	○	－
51	○	－	－	動物外科看護学実習Ⅱ	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	2後	1	－	○	－	○	－	－	○	○
52	○	－	－	動物愛護・適正飼養実習Ⅰ	動物の飼養管理に関する基本的な取り扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正使用額に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する。	2後	1	－	○	－	○	－	○	－	－
53	○	－	－	動物看護総合実習Ⅱ	一定期間企業などの中で研修生として働き、身につけた知識や技術を総合的に実践する。	2後	1	－	－	○	－	○	－	○	○
54	○	－	－	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実習Ⅱ	情報化社会の現在、必須の能力とされているパソコンスキルを習得するため、パソコン演習を通し、パソコンの基本操作を学び、表計算ソフト(Excel)のデータ集計機能、グラフ作成機能、データベース機能を利用し、わかりやすい集計資料などの作成能力を養う	3前	1	－	○	－	○	－	－	○	－
55	○	－	－	トレーニング実習Ⅴ	犬の集中力・正確さをやしなう（2年次に履修した内容をさらにレベルアップする）	3前	1	－	○	－	○	－	－	○	－

56	○	－	－	AAA実習Ⅰ	動物介在活動の意義を理解し、よりよい活動方法を考える。	3前	2	－	○	－	－	○	○	－	○
57	○	－	－	生命倫理・動物福祉	生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉について学ぶ。	3前	2	○	－	－	○	－	○	－	－
58	○	－	－	動物繁殖学	繁殖に関わる形態機能学を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を修得する。	3前	2	○	－	－	○	－	－	○	－
59	○	－	－	動物栄養学Ⅱ	動物のライフステージ別の栄養管理や疾患による栄養要求の違いを学び管理方法を理解する。	3前	2	○	－	－	○	－	－	○	－
60	○	－	－	比較動物学Ⅰ	産業動物及び実験動物の歴史や品種、飼育管理方法及び関わり、さらに日本の野生動物の種類と保全、動物園等の展示動物について学ぶ。	3前	2	○	－	－	○	－	○	－	－
61	○	－	－	動物薬理学Ⅰ	代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用及び副作用について学び、診断や治療にどのように用いられるかを理解する。	3前	2	○	－	－	○	－	○	－	－
62	○	－	－	公衆衛生学Ⅰ	環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。	3前	2	○	－	－	○	－	○	－	－
63	○	－	－	動物臨床看護学各論Ⅲ	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関しる基本的な知識を学ぶ。	3前	2	○	－	－	○	－	○	－	－
64	○	－	－	適正飼養指導論Ⅰ	愛玩動物の効用や飼養目的等を理解した上で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する。	3前	2	○	－	－	○	－	○	－	－
65	○	－	－	動物臨床看護学実習Ⅰ	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	3前	1	－	○	－	○	－	○	－	－
66	○	－	－	動物愛護・適正飼養実習Ⅱ	動物の飼養管理に関する基本的な取り扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正使用額に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する。	3前	1	－	○	－	○	－	○	－	－
67	○	－	－	動物看護総合実習Ⅲ	一定期間企業などの中で研修生として働き、身につけた知識や技術を総合的に実践する。	3前	3	－	－	○	－	○	－	○	○
68	○	－	－	AAA実習Ⅱ	動物介在活動の意義を理解し、よりよい活動方法を考える。	3後	2	－	○	－	－	○	○	－	○
69	○	－	－	比較動物学Ⅱ	産業動物及び実験動物の歴史や品種、飼育管理方法及び関わり、さらに日本の野生動物の種類と保全、動物園等の展示動物について学ぶ。	3後	2	○	－	－	○	－	○	－	－

70	○	－	－	動物薬理学Ⅱ	代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用及び副作用について学び、診断や治療にどのように用いたれるかを理解する。	3後	2	○	－	－	○	－	○	－	－
71	○	－	－	公衆衛生学Ⅱ	公衆衛生は、ヒトと動物の全てを対象とした分野であり、獣医療に関わるうえでも重要な分野である。また、関連するさまざまな環境要因とヒトの健康である疾病予防、早期発見、健康維持および増進に役立てる総合的な学科目である。ヒトと動物の共生などを対象とする科目では、人獣共通感染症、食品衛生、環境衛生があり、滅菌と消毒、動物防疫学についても学習する。将来、動物看護師として動物病院で勤務する際に衛生面で注意するべきことを理解し、飼い主への飼育・衛生管理指導に活かすよう学習する。	3後	2	○	－	－	○	－	○	－	－
72	○	－	－	動物臨床看護学各論Ⅳ	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関しる基本的な知識を学ぶ。	3後	2	○	－	－	○	－	○	－	－
73	○	－	－	動物医療コミュニケーション	日常健康管理に関わる飼い主教育や事前問診、入院動物の容態説明、動物病院スタッフ間のコミュニケーション方法を学ぶ。	3後	2	○	－	－	○	－	○	－	－
74	○	－	－	適正飼養指導論Ⅱ	愛玩動物の効用や飼養目的等を理解した上で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する。	3後	2	○	－	－	○	－	○	－	－
75	○	－	－	動物生活環境学	動物の行動様式を理解した上で、家庭等における飼養環境の整備、ペット共生住宅などについて学び人とペットの共生のための生活のあり方を理解する。	3後	2	○	－	－	○	－	○	－	－
76	○	－	－	ペット関連産業概論	ペット飼養ニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱責任者としての実践的知識や手法を学ぶ。	3後	2	○	－	－	○	－	○	－	－
77	○	－	－	動物臨床看護学実習Ⅱ	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	3後	1	－	○	－	○	－	○	－	－
78	○	－	－	動物外科看護学実習Ⅲ	周術期の術前、術中、術後において動物看護師の役割である外科手術を補助するために必要な外科看護技術を習得する。看護動物が安全に麻酔（手術）を遂行するためには、術前の準備として看護動物の術前評価及び状態把握の目的・意義を理解することが重要である。また日ごろからの手術器具、機材の管理が必要となる。周術期における手術助手として必要な知識と技術を習得する。	3後	1	－	○	－	○	－	○	－	－
合計					78 科目					129 単位					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	期末試験・実技評価・出席率等で評価	１学年の学期区分	2 期
履修方法：	必須科目のすべてを決められた期間で履修すること。	１学期の授業期間	15 週

（別紙様式４）

令和8年10月1日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
専門学校穴吹動物看護カレッジ	平成18年3月23日	上杉　敬治	〒　761-8056 （住所）　香川県高松市上天神町721-1 （電話）　087-826-2222
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人穴吹学園	平成3年4月1日	穴吹　忠嗣	〒　760-0020 （住所）　香川県高松市錦町1-22-23 （電話）　087-823-5700

分野	認定課程名	認定学科又は専攻科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
文化・教養	文化・教養専門課程	動物健康管理学科 ペット美容・グルーマー専攻	平成22(2010)年度	－	平成26(2014)年度

学科又は専攻科の目的	ペット分野で即活躍できるトリマーを育てることを目的とする
学科又は専攻科の特徴（取得可能な資格、中退率　等）	取得可能な資格：JKCトリマーC級ライセンス、サロントリマー検定　等

修業年限	昼夜の別	全課程の修了に必要な総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2　年	昼間	71　単位	30 単位	41 単位	0 単位	0 単位	0 単位

学生総定員	学生実員(A)	留学生数（学生実員の内数）(B)	留学生割合(B/A)	中退率
60 人	33 人	0 人	0 %	3 %

就職等の状況

■卒業者数 ©	19	人
■就職希望者数 (D)	17	人
■就職者数 €	17	人
■地元就職者数 (F)	15	人
■就職率 (E/D)	100	%
■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)	88	%
■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)	89	%
■進学者数	0	人

■その他

（令和　　7 年度卒業者に関する令和８年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等

（令和7年度卒業生）

トリミングサロン、ペットショップ等

当該学科又は専攻科のホームページURL	https://web.anabuki-college.net/department/animal/

企業等と連携した実習等の実施状況（Ａ、Ｂいずれかに記入）

総単位数	71 単位
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	0 単位
うち企業等と連携した演習の単位数	2 単位
うち必修単位数	2 単位
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	2 単位
（うち企業等と連携したインターンシップの単位数）	0 単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	3 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	5 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	0 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	2 人
計		10 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	8 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

○教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携

（1）教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針及び教育課程編成委員会等の位置付け

a.教育課程編成委員会を年2回以上開催しているか。	している
開催日時実績	第1回　令和7年11月17日　13:00～14:00/第2回　令和8年2月26日　14:00～15:00
b.教育課程編成委員会に、以下①～③の類型に該当する企業等委員が参加しているか。 ※①から③において、①又は②から1人、③から1人が委員として参画している場合、「している」を選択。 ※①又は②から1人、③から1人が委員として参画していない場合、「していない」を選択。	している
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）	
②学会や学術機関等の有識者	
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員	
c.学校の教育課程編成の責任者が委員参加しているか。	している
d.教育課程や学生の学修成果等に関する現状や情報、データを教育課程編成委員会の委員に提示しているか。	している
e.教育課程編成委員会の議事を記録し、学内回覧等しているか。	している
f.企業等委員の意見を教育課程編成見直しに反映しているか。	している
g.次の教育課程編成委員会に、教育課程編成の見直し結果等を報告しているか。	している

（特筆すべき工夫等）

（2）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年10月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
藤明　洋和	香川県健康福祉部生活衛生課	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	①
棄島　正徳	公益社団法人　香川県獣医師会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	①
佐藤　真	まこと犬と猫の病院	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
小曳　那奈	まこと犬と猫の病院	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
鈴木　ひとみ	サカイ商事株式会社	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
原　有希	高知ラブドッグスクール	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
上杉　敬冶	専門学校穴吹動物看護カレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	―
戸倉　潤也	専門学校穴吹動物看護カレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	―
林　勇樹	専門学校穴吹動物看護カレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	―

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針及び実習・演習等における企業等との連携内容

a.実習等又は演習の形態の授業で企業等連携を行っているか。	している
b.企業等と連携を行う際は、企業等との組織的な協定や契約を締結しているか。	している
c.企業等との連携内容を、連携先企業等との文書等で明示的に合意しているか（連携のマニュアル、手引き等定めているか）。	している
d.教育課程や学生の学修成果等に関する現状や情報、データを教育課程編成委員会の委員に提示しているか。	している
e.企業等の講師に対して事前打ち合わせや研修を行っているか。	している
f.企業等連携の実習・演習等の内容を学校側は適切に確認しているか（教員の見回り実施、実習日誌の作成等）。	している
g.企業等連携の実習・演習等における成績評価について、企業等と協議を行っているか。	している
h.適切な企業等連携の実習・演習となるよう、必要に応じて連携先企業等を見直しているか。	している

（特筆すべき工夫等）

（2）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	企業連携の方法	科目概要	連　携　企　業　等
トレーニング実習Ⅰ・Ⅱ	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	犬が人間社会で暮らしていくために必要なルールやマナーを学ぶ。訓練基礎を習得する。	株式会社ドッグアドベンチャー

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）認定専門課程等の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

現在就いている職または将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な能力及び資質等の向上を図るため、教員は学内および学外で研修に参加し、自らの見識・技能の幅を広げ、それを教育の現場で反映させていくこととする。学校は教職員研修規定に従い、教員の業務経験や能力に応じて、新たに採用した教職員に対して「新任者研修」、管理職教職員に対しては「管理職研修」、各々指導分野における実務研修・見学研修を計画的に実施する。

（2）研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	動物臨床医学会年次大会	連携企業等：	公益社団法人　動物臨床医学研究所
期間：	令和7年10月	対象：	動物看護系教員
内容	動物医療で必要とされる技術と知識		

研修名：	WJVF2026	連携企業等：	日本臨床獣医学フォーラム事務局
期間：	令和7年7月	対象：	動物看護系教員
内容	動物医療で必要とされる技術と知識		

研修名：	トリマー義務研修	連携企業等：	一般社団法人ジャパンケネルクラブ
期間：	令和7年8月	対象：	動物美容系教員
内容	ドッグトリミングに関する講義		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	キャリア・サポーター養成講座	連携企業等：	職業教育・キャリア教育財団
期間：	令和7年8月	対象：	全教職員
内容	学生が自分自身のキャリア（仕事人生）を主体的に設計・選択・決定できるように支援するという理念を広く浸透させ、教職員として身に付けるべきマインド（態度や姿勢・考え方）を学ぶ		

研修名：	主体性創造ワークショップ	連携企業等：	株式会社　WISHパートナーズ
期間：	令和8年2月	対象：	全教職員
内容	学生の主体性を創造するための関わり方を学ぶ		

（3）研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	ペピィWebライブセミナー	連携企業等：	株式会社PEPPY
期間：	令和8年8月	対象：	動物看護系教員
内容	愛玩動物看護師の保定で変わる腹部エコー・心エコー		
研修名：	WJVF2026	連携企業等：	日本臨床獣医学フォーラム事務局
期間：	令和8年7月	対象：	動物看護系教員
内容	動物医療で必要とされる技術と知識		
研修名：	トリマー義務研修	連携企業等：	一般社団法人ジャパンケネルクラブ
期間：	令和8年8月	対象：	動物美容系教員
内容	ドッグトリミングに関する講義		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	キャリア・サポーター養成講座	連携企業等：	職業教育・キャリア教育財団
期間：	令和8年8月	対象：	全教職員
内容	学生が自分自身のキャリア（仕事人生）を主体的に設計・選択・決定できるように支援するという理念を広く浸透させ、教職員として身に付けるべきマインド（態度や姿勢・考え方）を学ぶ		
研修名：	主体性創造ワークショップ	連携企業等：	株式会社　WISHパートナーズ
期間：	令和9年2月	対象：	全教職員
内容	学生の主体性を創造するための関わり方を学ぶ		

4.「当該専門課程等を置く専修学校において、学校教育法第百三十二条の二第二項の規定により評価を受け、その結果を公表していること。」関係

〇学校関係者評価

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	
(1)教育理念・目的・目標	
1　教育理念、目的及び目標の設定等	
①教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	同内容評価項目を設けている
(2)学校運営	
1　教育課程の編成と授業科目	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成したうえで、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	同内容評価項目を設けている
2　教育の実施	
①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	同内容評価項目を設けている
②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位数の総授業単位数に占める割合を具体的に設定していること。	同内容評価項目を設けている
3　単位・卒業認定	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針(資格・免許等を含む習得させる職業能力を含む)を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	同内容評価項目を設けている
4　学修成果目標の達成状況	
①卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得(資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得を含む。)についての目標を定め、その目標が達成できていること。	同内容評価項目を設けている
②学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	同内容評価項目を設けている
(3)学生の受入れ、学生支援	
1　学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	
①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定していること。	同内容評価項目を設けている
2　自主的な学習の促進に対する支援	
①学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　多様な学生に対する支援	
①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
4　学生生活に関する支援	
①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	同内容評価項目を設けている
②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	同内容評価項目を設けている
③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。 ※簡易評価項目	同内容評価項目を設けている
④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	同内容評価項目を設けている

（4）教育実施組織・教員	
1　教員の配置、募集、採用	
①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用していること。	同内容評価項目を設けている
②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
2　教員の組織編制等	
①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	同内容評価項目を設けている
②教員間で連携、協力体制を構築していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　教員の資質の向上	
①学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	同内容評価項目を設けている
②特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っているこ	同内容評価項目を設けている
③教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
（5）教育環境	
1　教育環境の整備	
①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	同内容評価項目を設けている
②学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
③図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
2　安全対策、防災組織	
①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	同内容評価項目を設けている
②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　施設・設備等の点検、改善等	
①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。※任意項	同内容評価項目を設けている
②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。※任意項目	同内容評価項目を設けている
（6）教育活動の基盤と改善・向上の取組	
1　中期事業計画と財務基盤	
①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	同内容評価項目を設けている
2　学校運営	
①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等）における責任体制を含む。）。	同内容評価項目を設けている
3　学校評価の実施と改善活動	
①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
②特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。	同内容評価項目を設けている
③学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	同内容評価項目を設けている
④学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
4　社会からの理解と情報の公表	
①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	同内容評価項目を設けている
②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取組んでいること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている

（3）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和8年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
森川　崇	元県立観音寺中央高等学校校長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	元高校関係委員
喜多　泰三	香川県立農業経営高等学校	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	高校関係委員
三笠　善宣	香川県立高松南高等学校	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	高校関係委員
高田　有基	株式会社YJR　アシル動物病院	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	業界委員
入江　俊介	株式会社ベッツウェイ　たかせ動物病院	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	卒業生
中岡　和恵	学生保護者	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	PTA

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

情報提供方法	ホームページ	「その他」の場合	ー
公表URL	https://web.anabuki-college.net/wp-content/uploads/2026/02/78803b3e32e6edc03d1d67e4c037ac1e.pdf		
公表時期	令和8年12月1日		

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）情報提供

情報提供方法	ホームページ	「その他」の場合	ー
公表URL	https://web.anabuki-college.net/guide/disclosure/		
公表時期	令和8年12月1日		

授業科目等の概要

	（文化・教養専門課程 動物健康管理学科ペット美容・グルーマー専攻）															
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○	－	－	サービス接遇講座Ⅰ	サービス接遇検定３級取得のための勉強を通して、社会人として必要なマナー・接客スキルを身につける。接客の基礎を学ぶことによって、動物看護師・ペットショップスタッフとしての業務をストレスなく行える力を身につける。お客様心理を理解することによって、他人へ配慮する気持ちを身につける。	1前	2	－	○	－	○	－	○	－	－
2	○	－	－	犬種標準学Ⅰ	犬の外観や行動をよく理解しお客さまにあった犬種を提供できるようになること。ペットブームになり犬を飼育する人が増えてきたが捨てられる純犬種の割合が多くなってきた。犬の提供する側の知識不足だと思われる。少しでも犬種の生態を知ってミスマッチを防ぎ犬と人とがよりよい関係を築く手助けができる人材になるためによく理解できるように説明する。	1前	2	○	－	－	○	－	－	○	－
3	○	－	－	動物看護学Ⅰ	動物を取り扱う仕事に就く上で必要となる救命救急や消毒、健康管理法などの動物看護についての知識を座学、実習を通して学ぶ。	1前	2	○	－	－	○	－	○	－	－
4	○	－	－	動物行動学Ⅰ	動物、おもに犬についての生態、行動を学び理解する。動物と人間がいかに共存できるか学習する	1前	2	○	－	－	○	－	－	○	－
5	○	－	－	トレーニング実習Ⅰ	犬が人間社会で暮らしていくために必要なルールやマナーを学ぶ。訓練基礎を習得する。	1前	1	－	○	－	○	－	－	○	○
6	○	－	－	グルーミング総論	グルーミングに関する基礎知識をまなび、実習につなげる。	1前	2	○	－	－	○	－	－	○	－
7	○	－	－	グルーミング基礎実習	グルーミング(犬の美容)に必要な犬の扱い方と、美容道具の扱い方を学ぶ。	1前	6	－	○	－	○	－	○	－	－
8	○	－	－	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実習Ⅰ	情報化社会の現在、必須の能力とされているパソコンスキルを習得するため、パソコン演習を通し、パソコンの基本操作を学び、文書作成ソフト(Word)の操作と文書作成能力を養う	1後	1	－	○	－	○	－	－	○	－

9	○	－	－	サービス接遇講座Ⅱ	サービス接遇検定2級取得のための勉強を通して、社会人としての必要なマナー・接客スキルを身につける。接客の基礎を学ぶことによって、ペットショップスタッフとしての業務をストレスなく行える力を習得する。お客様心理を理解することによって、他人へ配慮する気持ちを身につける。	1後	2	－	○	－	○	－	○	－	－
10	○	－	－	社会人基礎講座Ⅰ	専門学校での学習の意味を理解し進路を決定する際に必要な知識とスキルを身につける。	1後	1	－	○	－	○	－	○	－	－
11	○	－	－	犬種標準学Ⅱ	犬種の特徴を知り、訓練、美容、看護の分野で役に立つようにする。	1後	2	○	－	－	○	－	－	○	－
12	○	－	－	動物飼養管理学Ⅰ	動物関係法令や動物愛護運動史、適正な飼養・健康管理、各種動物の飼養管理、犬の繁殖学等の知識を体系的に修得・普及する指導員を養成する。	1後	2	○	－	－	○	－	○	－	－
13	○	－	－	トレーニング実習Ⅱ	犬が人間社会で暮らしていくために必要なルールやマナーを学ぶ。基礎訓練（脚側行進・伏臥・停座・据座・立止・招呼）を習得する。	1後	1	－	○	－	○	－	－	○	○
14	○	－	－	グルーミング各論	各犬種のグルーミング知識をまなび、実習につなげる。サロントリマー3級検定の学科試験対策	1後	2	○	－	－	○	－	○	－	－
15	○	－	－	グルーミング応用実習	グルーミング(犬の美容)に必要な犬の扱い方と、美容道具の扱い方を学ぶ。	1後	6	－	○	－	○	－	○	－	－
16	○	－	－	ハンドリング学Ⅰ	ショーハンドリングを習得することにより、犬の心理状況や扱いを学ぶ。	1後	1	－	○	－	○	－	－	○	－
17	○	－	－	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実習Ⅱ	情報化社会の現在、必須の能力とされているパソコンスキルを習得するため、パソコン演習を通し、パソコンの基本操作を学び、表計算ソフト(Excel)のデータ集計機能、グラフ作成機能、データベース機能を利用し、わかりやすい集計資料などの作成能力を養う	2前	1	－	○	－	○	－	－	○	－
18	○	－	－	サービス接遇講座Ⅲ	サービス接遇検定準1級に合格する接客の基本スキルを身につける。接客の基本を学ぶことにより、ペット業界スタッフとしての業務をストレスなく行える力を習得する。 グループ練習を通して、多様性を理解し、協調性とコミュニケーション力を習得する。	2前	0	－	○	－	○	－	○	－	－
19	○	－	－	社会人基礎講座Ⅱ	専門学校での学習の意味を理解し、進路を決定する際に必要な知識とスキルを身につける。就職活動に必要な知識・技術を学び習得する。	2前	1	－	○	－	○	－	○	－	－

20	○	－	－	動物飼養管理学Ⅱ	動物飼養の理解と検定取得 動物に関する法律・動物の習性・疾病・適切な飼養管理について学び、愛玩動物と人との共存を考える。愛玩動物飼養管理士2級合格レベルの知識を身に付ける。	2 前	4	○	－	－	○	－	○	－	－
21	○	－	－	トリミング総論	トリミングに必要な知識を身につけ、技術の向上につなげる。	2 前	2	○	－	－	○	－	○	－	－
22	○	－	－	トリミング実習	トリミング(犬のカット)に必要な犬の扱い方と、美容道具の扱い方、様々なカット様式を学ぶ。	2 前	8	－	○	－	○	－	○	－	－
23	○	－	－	ハンドリング学Ⅱ	試験と同じ科目を練習する。人の練習でもあるが犬に科目を教えることが目的である。	2 前	1	－	○	－	○	－	－	○	－
24	○	－	－	動物機能形態学	犬種ごとの骨格構成や性質を学ぶ。	2 前	2	○	－	－	○	－	－	○	－
25	○	－	－	動物看護学Ⅱ	イヌ・ネコに携わる業務に就くにあたり、必要とされる動物のケアに関する知識・技術について学ぶ。	2 後	2	○	－	－	○	－	○	－	－
26	○	－	－	繁殖飼育学	犬の繁殖に関して、繁殖適期や禁忌となるブリーディングなどについて学ぶ。	2 後	2	○	－	－	○	－	－	○	－
27	○	－	－	動物飼養管理学Ⅲ	動物飼養の理解と検定取得動物に関する法律・動物の習性・適切な飼養について学び、愛玩動物と人との共存を考える。愛玩動物飼養管理士２級合格レベルの知識を身につける。	2 後	2	○	－	－	○	－	○	－	－
28	○	－	－	トリミング各論	JKC C級検定合格に必要なトリミングの知識を身につける。検定の学科試験対策。	2 後	2	○	－	－	○	－	－	○	－
29	○	－	－	プロフェッショナルトリミング	トリマーに必要な高度なトリミング技術を学ぶ。	2 後	9	－	○	－	○	－	○	－	－
合計					29 科目			71 単位								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	期末試験・実技評価・出席率等で評価	１学年の学期区分	2 期
履修方法：	必須科目のすべてを決められた期間で履修すること。	１学期の授業期間	15 週

（別紙様式４）

令和8年10月1日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
専門学校穴吹動物看護カレッジ	平成18年3月23日	上杉　敬治	〒　761-8056 （住所）　香川県高松市上天神町721-1 （電話）　087-826-2222
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人穴吹学園	平成3年4月1日	穴吹　忠嗣	〒　760-0020 （住所）　香川県高松市錦町1-22-23 （電話）　087-823-5700

分野	認定課程名	認定学科又は専攻科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
文化・教養	文化・教養専門課程	動物健康管理学科 しつけインストラクター専攻	平成22(2010)年度	－	平成26(2014)年度

学科又は専攻科の目的	ペット分野で即活躍できるドッグトレーナーを育てることを目的とする。
学科又は専攻科の特徴（取得可能な資格、中退率　等）	取得可能な資格：JKCハンドラーC級　等

修業年限	昼夜の別	全課程の修了に必要な総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2　年	昼間	73　単位	34 単位	39 単位	0 単位	0 単位	0 単位

学生総定員	学生実員(A)	留学生数（学生実員の内数）(B)	留学生割合(B/A)	中退率
60 人	25 人	0 人	0 %	12 %

就職等の状況

■卒業者数 ©	12	人
■就職希望者数 (D)	12	人
■就職者数 €	12	人
■地元就職者数 (F)	9	人
■就職率 (E/D)	100	%
■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)	75	%
■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)	100	%
■進学者数	0	人

■その他

（令和　　7 年度卒業者に関する令和８年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等

（令和7年度卒業生）

動物病院、ペットショップ等

当該学科又は専攻科のホームページURL	https://web.anabuki-college.net/department/animal/

企業等と連携した実習等の実施状況（Ａ、Ｂいずれかに記入）

総単位数	73 単位
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	0 単位
うち企業等と連携した演習の単位数	9 単位
うち必修単位数	9 単位
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	9 単位
（うち企業等と連携したインターンシップの単位数）	0 単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	3 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	5 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	0 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	2 人
計		10 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	8 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

○教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携

（1）教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針及び教育課程編成委員会等の位置付け

a.教育課程編成委員会を年2回以上開催しているか。	している
開催日時実績	第1回　令和7年11月17日　13:00～14:00/第2回　令和8年2月26日　14:00～15:00
b.教育課程編成委員会に、以下①～③の類型に該当する企業等委員が参加しているか。 ※①から③において、①又は②から1人、③から1人が委員として参画している場合、「している」を選択。 ※①又は②から1人、③から1人が委員として参画していない場合、「していない」を選択。	している
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）	
②学会や学術機関等の有識者	
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員	
c.学校の教育課程編成の責任者が委員参加しているか。	している
d.教育課程や学生の学修成果等に関する現状や情報、データを教育課程編成委員会の委員に提示しているか。	している
e.教育課程編成委員会の議事を記録し、学内回覧等しているか。	している
f.企業等委員の意見を教育課程編成見直しに反映しているか。	している
g.次の教育課程編成委員会に、教育課程編成の見直し結果等を報告しているか。	している

（特筆すべき工夫等）

（2）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年10月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
藤明　洋和	香川県健康福祉部生活衛生課	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	①
衆島　正徳	公益社団法人　香川県獣医師会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	①
佐藤　真	まこと犬と猫の病院	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
小曳　那奈	まこと犬と猫の病院	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
鈴木　ひとみ	サカイ商事株式会社	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
原　有希	高知ラブドッグスクール	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
上杉　敬冶	専門学校穴吹動物看護カレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	―
戸倉　潤也	専門学校穴吹動物看護カレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	―
林　勇樹	専門学校穴吹動物看護カレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	―

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針及び実習・演習等における企業等との連携内容

a.実習等又は演習の形態の授業で企業等連携を行っているか。	している
b.企業等と連携を行う際は、企業等との組織的な協定や契約を締結しているか。	している
c.企業等との連携内容を、連携先企業等との文書等で明示的に合意しているか（連携のマニュアル、手引き等定めているか）。	している
d.教育課程や学生の学修成果等に関する現状や情報、データを教育課程編成委員会の委員に提示しているか。	している
e.企業等の講師に対して事前打ち合わせや研修を行っているか。	している
f.企業等連携の実習・演習等の内容を学校側は適切に確認しているか（教員の見回り実施、実習日誌の作成等）。	している
g.企業等連携の実習・演習等における成績評価について、企業等と協議を行っているか。	している
h.適切な企業等連携の実習・演習となるよう、必要に応じて連携先企業等を見直しているか。	している

（特筆すべき工夫等）

（2）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	企業連携の方法	科目概要	連　携　企　業　等
アジリティ実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	アジリティの基本や歴史から犬との信頼関係の大切さを学ぶ。	株式会社ドッグアドベンチャー
AAA実習Ⅰ・Ⅱ	3.【校外】企業内実習（4に該当するものを除く。）	高齢者施設や幼稚園等での動物介在活動の実践を通して、その意義や効果を理解する。	高松中央高校幼稚園、あなぶきメディカルケア

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）認定専門課程等の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

現在就いている職または将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な能力及び資質等の向上を図るため、教員は学内および学外で研修に参加し、自らの見識・技能の幅を広げ、それを教育の現場で反映させていくこととする。学校は教職員研修規定に従い、教員の業務経験や能力に応じて、新たに採用した教職員に対して「新任者研修」、管理職教職員に対しては「管理職研修」、各々指導分野における実務研修・見学研修を計画的に実施する。

（2）研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	動物臨床医学会年次大会	連携企業等：	公益社団法人　動物臨床医学研究所
期間：	令和7年10月	対象：	動物看護系教員
内容	動物医療で必要とされる技術と知識		

研修名：	WJVF2026	連携企業等：	日本臨床獣医学フォーラム事務局
期間：	令和7年7月	対象：	動物看護系教員
内容	動物医療で必要とされる技術と知識		

研修名：	トリマー義務研修	連携企業等：	一般社団法人ジャパンケネルクラブ
期間：	令和7年8月	対象：	動物美容系教員
内容	ドッグトリミングに関する講義		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	キャリア・サポーター養成講座	連携企業等：	職業教育・キャリア教育財団
期間：	令和7年8月	対象：	全教職員
内容	学生が自分自身のキャリア（仕事人生）を主体的に設計・選択・決定できるように支援するという理念を広く浸透させ、教職員として身に付けるべきマインド（態度や姿勢・考え方）を学ぶ		

研修名：	主体性創造ワークショップ	連携企業等：	株式会社　WISHパートナーズ
期間：	令和8年2月	対象：	全教職員
内容	学生の主体性を創造するための関わり方を学ぶ		

（3）研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	ペピィWebライブセミナー	連携企業等：	株式会社PEPPY
期間：	令和8年8月	対象：	動物看護系教員
内容	愛玩動物看護師の保定で変わる腹部エコー・心エコー		
研修名：	WJVF2026	連携企業等：	日本臨床獣医学フォーラム事務局
期間：	令和8年7月	対象：	動物看護系教員
内容	動物医療で必要とされる技術と知識		
研修名：	トリマー義務研修	連携企業等：	一般社団法人ジャパンケネルクラブ
期間：	令和8年8月	対象：	動物美容系教員
内容	ドッグトリミングに関する講義		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	キャリア・サポーター養成講座	連携企業等：	職業教育・キャリア教育財団
期間：	令和8年8月	対象：	全教職員
内容	学生が自分自身のキャリア（仕事人生）を主体的に設計・選択・決定できるように支援するという理念を広く浸透させ、教職員として身に付けるべきマインド（態度や姿勢・考え方）を学ぶ		
研修名：	主体性創造ワークショップ	連携企業等：	株式会社　WISHパートナーズ
期間：	令和9年2月	対象：	全教職員
内容	学生の主体性を創造するための関わり方を学ぶ		

4.「当該専門課程等を置く専修学校において、学校教育法第百三十二条の二第二項の規定により評価を受け、その結果を公表していること。」関係

〇学校関係者評価

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	
(1)教育理念・目的・目標	
1　教育理念、目的及び目標の設定等	
①教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	同内容評価項目を設けている
(2)学校運営	
1　教育課程の編成と授業科目	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成したうえで、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	同内容評価項目を設けている
2　教育の実施	
①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	同内容評価項目を設けている
②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位数の総授業単位数に占める割合を具体的に設定していること。	同内容評価項目を設けている
3　単位・卒業認定	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針(資格・免許等を含む習得させる職業能力を含む)を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	同内容評価項目を設けている
4　学修成果目標の達成状況	
①卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得(資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得を含む。)についての目標を定め、その目標が達成できていること。	同内容評価項目を設けている
②学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	同内容評価項目を設けている
(3)学生の受入れ、学生支援	
1　学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	
①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定していること。	同内容評価項目を設けている
2　自主的な学習の促進に対する支援	
①学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　多様な学生に対する支援	
①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
4　学生生活に関する支援	
①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	同内容評価項目を設けている
②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	同内容評価項目を設けている
③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。 ※簡易評価項目	同内容評価項目を設けている
④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	同内容評価項目を設けている

（4）教育実施組織・教員	
1　教員の配置、募集、採用	
①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用していること。	同内容評価項目を設けている
②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
2　教員の組織編制等	
①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	同内容評価項目を設けている
②教員間で連携、協力体制を構築していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　教員の資質の向上	
①学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	同内容評価項目を設けている
②特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っているこ	同内容評価項目を設けている
③教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
（5）教育環境	
1　教育環境の整備	
①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	同内容評価項目を設けている
②学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
③図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
2　安全対策、防災組織	
①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	同内容評価項目を設けている
②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　施設・設備等の点検、改善等	
①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。※任意項	同内容評価項目を設けている
②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。※任意項目	同内容評価項目を設けている
（6）教育活動の基盤と改善・向上の取組	
1　中期事業計画と財務基盤	
①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	同内容評価項目を設けている
2　学校運営	
①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等）における責任体制を含む。）。	同内容評価項目を設けている
3　学校評価の実施と改善活動	
①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
②特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。	同内容評価項目を設けている
③学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	同内容評価項目を設けている
④学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
4　社会からの理解と情報の公表	
①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	同内容評価項目を設けている
②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取組んでいること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている

（3）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和8年10月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
森川　崇	元県立観音寺中央高等学校校長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	元高校関係委員
喜多　泰三	香川県立農業経営高等学校	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	高校関係委員
三笠　善宣	香川県立高松南高等学校	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	高校関係委員
高田　有基	株式会社YJR　アシル動物病院	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	業界委員
入江　俊介	株式会社ベッツウェイ　たかせ動物病院	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	卒業生
中岡　和恵	学生保護者	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	PTA

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

情報提供方法	ホームページ	「その他」の場合	ー
公表URL	https://web.anabuki-college.net/wp-content/uploads/2026/02/78803b3e32e6edc03d1d67e4c037ac1e.pdf		
公表時期	令和8年12月1日		

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）情報提供

情報提供方法	ホームページ	「その他」の場合	ー
公表URL	https://web.anabuki-college.net/guide/disclosure/		
公表時期	令和8年12月1日		

授業科目等の概要

	（文化・教養専門課程 動物健康管理学科しつけインストラクター専攻）															
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○	－	－	サービス接遇講座Ⅰ	サービス接遇検定３級取得のための勉強を通して、社会人として必要なマナー・接客スキルを身につける。接客の基礎を学ぶことによって、ペットショップスタッフとしての業務をストレスなく行える力を習得する。お客さま心理を理解することによって、他人へ配慮する気持ちを身につける。	1前	2	－	○	－	○	－	○	－	－
2	○	－	－	犬種標準学Ⅰ	日本で飼われている種類を抜粋し生態、外観、飼育方法を身につける。	1前	2	○	－	－	○	－	－	○	－
3	○	－	－	ペット美容学Ⅰ	犬の毛や手入れの基礎を知り犬の管理を学ぶ。	1前	2	○	－	－	○	－	－	○	－
4	○	－	－	グルーミング実習BASICⅠ	グルーミング(犬の美容)に必要な犬の扱い方と、美容道具の扱い方を学ぶ。	1前	3	－	○	－	○	－	○	－	－
5	○	－	－	動物看護学Ⅰ	犬描に良く見られる疾病とその処置について学ぶ。	1前	2	○	－	－	○	－	○	－	－
6	○	－	－	動物行動学	動物、おもに犬についての生態、行動を学び理解する。動物と人間がいかに共存できるか学習する。	1前	2	○	－	－	○	－	－	○	－
7	○	－	－	しつけトレーニング実習Ⅰ	犬が人間社会で暮らしていくために必要なルールやマナーを学ぶ。訓練基礎を習得する	1前	2	－	○	－	○	－	－	○	－
8	○	－	－	アジリティ実習Ⅰ	アジリティの基本や歴史から犬との信頼関係の大切さを学ぶ。	1前	1	－	○	－	○	－	－	○	○
9	○	－	－	ドッグケア学	犬の一生（ライフステージごと）のアドバイスができる学び。	1前	2	○	－	－	○	－	－	○	－
10	○	－	－	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実習Ⅰ	情報化社会の現在、必須の能力とされているパソコンスキルを習得するため、パソコン演習を通し、パソコンの基本操作を学び、文書作成ソフト(Word)の操作と文書作成能力を養う	1後	1	－	○	－	○	－	－	○	－

11	○	－	－	サービス接遇講座Ⅱ	サービス接遇検定2級取得のための勉強を通して、社会人としての必要なマナー・接客スキルを身につける。接客の基礎を学ぶことによって、ペットショップスタッフとしての業務をストレスなく行える力を習得する。お客様心理を理解することによって、他人へ配慮する気持ちを身につける。	1後	2	－	○	－	○	－	○	－	－
12	○	－	－	社会人基礎講座Ⅰ	専門学校での学習の意味を理解し進路を決定する際に必要な知識とスキルを身につける。	1後	1	－	○	－	○	－	○	－	－
13	○	－	－	犬種標準学Ⅱ	犬種の特徴を知り、訓練、美容、看護の分野で役に立つようにする。	1後	2	○	－	－	○	－	－	○	－
14	○	－	－	グルーミング実習BASICⅡ	グルーミング作業（ブラッシング・ベイジング・ドライング・爪切り・耳そうじ・クリッピング・足回り）を学ぶ。	1後	3	－	○	－	○	－	○	－	－
15	○	－	－	動物飼養管理学Ⅰ	理学動物に関する法律・動物の習性・疾病・適切な飼養について学び、愛玩動物と人との共存を考える。動物飼養管理士の資格取得を目指す。	1後	2	○	－	－	○	－	○	－	－
16	○	－	－	しつけトレーニング実習Ⅱ	担当犬と信頼関係を築く。	1後	2	－	○	－	○	－	－	○	－
17	○	－	－	アジリティ実習Ⅱ	遠隔で犬と人が意思を通じ合わせる。簡単なアジリティを知る。	1後	2	－	○	－	○	－	－	○	○
18	○	－	－	ドックトレーニング概論	ドッグトレーニングの重要性を理論的に理解し、実践に役立てる。	1後	2	○	－	－	○	－	－	○	－
19	○	－	－	ハンドリング学Ⅰ	ショーハンドリングを習得することにより、犬の心理状況や扱いを学ぶ。	1後	1	－	○	－	○	－	－	○	－
20	○	－	－	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実習Ⅱ	情報化社会の現在、必須の能力とされているパソコンスキルを習得するため、パソコン演習を通し、パソコンの基本操作を学び、表計算ソフト（Excel)のデータ集計機能、グラフ作成機能、データベース機能を利用し、わかりやすい集計資料などの作成能力を養う	2前	1	－	○	－	○	－	－	○	－
21	○	－	－	サービス接遇講座Ⅲ	サービス接遇検定準1級に合格する接客の基本スキルを身につける。接客の基本を学ぶことにより、ペット業界スタッフとしての業務をストレスなく行える力を習得する。グループ練習を通して、多様性を理解し、協調性とコミュニケーション力を習得する。	2前	0	－	○	－	○	－	○	－	－
22	○	－	－	社会人基礎講座Ⅱ	専門学校での学習の意味を理解し、進路を決定する際に必要な知識とスキルを身につける。就職活動に必要な知識・技術を学び習得する。	2前	1	－	○	－	○	－	○	－	－
23	○	－	－	トリミング実習BASICⅠ	トリミング(犬のカット)に必要な犬の扱い方と、美容道具の扱い方、様々なカット様式を学ぶ。	2前	2	－	○	－	○	－	○	－	－

24	○	－	－	動物飼養管理学Ⅱ	動物飼養の理解と検定取得 動物に関する法律・動物の習性・疾病・適切な飼養管理について学び、愛玩動物と人との共存を考える。愛玩動物飼養管理士2級合格レベルの知識を身に付ける。	2前	4	○	－	－	○	－	○	－	－
25	○	－	－	しつけトレーニング実習Ⅲ	犬の集中力・正確さをやしなう。	2前	3	－	○	－	○	－	－	○	－
26	○	－	－	アジリティ実習Ⅲ	アジリティについて深く理解する。	2前	2	－	○	－	○	－	－	○	○
27	○	－	－	動物機能形態学	犬種ごとの骨格構成や性質を学ぶ。	2前	2	○	－	－	○	－	－	○	－
28	○	－	－	ハンドリング学Ⅱ	ハンドリング試験と同じ科目を練習する。人の練習でもあるが犬に科目を教えることが目的である。	2前	1	－	○	－	○	－	－	○	－
29	○	－	－	問題行動学Ⅰ	犬の生態を理解し、人間と動物の共存について学ぶ。	2前	2	○	－	－	○	－	－	○	－
30	○	－	－	AAA実習Ⅰ	動物介在活動の意義を理解し、よりよい活動方法を考える。	2前	1	－	○	－	－	○	○	－	○
31	○	－	－	ペット美容学Ⅱ	犬の毛や手入れの基礎を知り犬の管理を学ぶ。実技に役立てる。	2後	2	○	－	－	○	－	－	○	－
32	○	－	－	トリミング実習BASICⅡ	グルーミングの基礎からさらにスピードをアップさせる。	2後	2	－	○	－	○	－	○	－	－
33	○	－	－	動物看護学Ⅱ	イヌ・ネコに携わる業務に就くにあたり、必要とされる動物のケアに関する知識・技術について学ぶ。	2後	2	○	－	－	○	－	○	－	－
34	○	－	－	繁殖飼育学	犬の繁殖に関して、繁殖適期や禁忌となるブリーディングなどについて学ぶ。	2後	2	○	－	－	○	－	－	○	－
35	○	－	－	動物飼養管理学Ⅲ	動物飼養の理解と検定取得 動物に関する法律・動物の習性・適切な飼養について学び、愛玩動物と人との共存を考える。愛玩動物飼養管理士２級合格レベルの知識を身につける。	2後	2	○	－	－	○	－	○	－	－
36	○	－	－	しつけトレーニング実習Ⅳ	警察犬訓練・セラピー活動での珍芸を覚える。	2後	3	－	○	－	○	－	－	○	－
37	○	－	－	アジリティ実習Ⅳ	アジリティをすべて知る。	2後	2	－	○	－	○	－	－	○	○
38	○	－	－	問題行動学Ⅱ	問題行動を実践的に学ぶ。	2後	2	○	－	－	○	－	－	○	－
39	○	－	－	AAA実習Ⅱ	動物介在活動の意義を理解し、よりよい活動方法を考える。	2後	1	－	○	－	－	○	○	－	○
合計					39 科目			73 単位								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件： 期末試験・実技評価・出席率等で評価	１学年の学期区分	2 期

履修方法：	必須科目のすべてを決められた期間で履修すること。	１学期の授業期間	15 週